

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

リノベーションまちづくりによる起業支援と賑わい創出計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県甘楽郡下仁田町

3 地域再生計画の区域

群馬県甘楽郡下仁田町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

最近では古民家など古い建築物が見直され利活用が盛んであるが、下仁田町においても維持補修費等の経費がかかるだけの利活用が図られていない建築物がある。このような施設を改修し利活用することにより、交流人口が増加し、施設周辺への経済効果が見込まれる。

4-2 地方創生として目指す将来像

下仁田町では、今まで若者の起業支援で活用できる施設がなく、ほとんどが町外に働き場を求め転出超過が顕著である。一方で、町内には白壁土蔵造りの建物やレンガ倉庫等伝統的建物が多い。下仁田町人口ビジョンの人口推計からも、町内の空き家を活用し、若者の起業支援施設として商家の改修と共に交流拠点施設を整備することで、交流人口の増加と共に町の賑わいの創出、転出者の減少及び空き家の利活用の促進につながることが期待される。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
チャレンジショップ 活用事業者数	0人	1人	1人	3人
ワークショップ等の 体験事業実施数	0回	0回	12回	20回
ワークショップ等の 体験事業参加者数	0人	0人	150人	300人

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累計
チャレンジショップ 活用事業者数	3人	4人	12人
ワークショップ等の 体験事業実施数	48回	60回	140回
ワークショップ等の 体験事業参加者数	720人	900人	2,070人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

利活用されていない古い商家を改修、併せて飲食スペースを併設した若者の起業支援及び交流施設を新築することにより、交流人口の増加、若者の起業促進による地域経済波及効果の拡大を目指す。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方拠点整備交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

群馬県甘楽郡下仁田町

② 事業の名称:歴史ある商家を活用した起業支援と交流拠点施設整備事業(チャレンジ交流拠点しもにた)

③ 事業の内容

利活用されていない古い商家を改修、併せて飲食スペースを併設した若者の起業支援及び交流施設を新築することにより、交流人口の増加、若者の起業促進による地域経済波及効果の拡大を目指す。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

今回改修する古い商家は、利活用がされておらず地域資源として活かされた施設となっていなかったが、町内若手まちづくりグループからの行政とタッグを組んでの利用希望があり、そのグループの他、若者や起業を志す若者に対し利活用できる場所として提供することにより、起業の促進、交流人口の増加など町の賑わい創出拠点として活かされた施設へのブラッシュアップが図られる。また、施設使用料を徴収することにより、単なる維持管理施設からの転換が可能となり、自立に向けた取り組みとなっていく。

【官民協働】

行政の役割としては、若者の起業支援施設として古い商家の改修と共に交流拠点施設を整備・提供し、実施事業に対してPR等でバックアップをする。施設活用者は、起業できるように経営感覚を身に付けるとともに、交流人口を増加させる事業を実施する。

【政策間連携】

地元3金融機関で構成されている下仁田町金融会の協力のもと、起業・創業に係る勉強会の開催や地元商店街との経営勉強会などを開催するべく包括協定を締結している。また、当該施設付近に町立小学校並びに中学校があることから、土日を活用した子ども向けの学習会の開催等、多世代及び他業種による交流拠点としての機能を有する施設になる。

⑤ 重要業績評価指標 (KPI) 及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
チャレンジショップ 活用事業者数	0人	1人	1人	3人
ワークショップ等の 体験事業実施数	0回	0回	12回	20回
ワークショップ等の 体験事業参加者数	0人	0人	150人	300人

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累計
チャレンジショップ 活用事業者数	3人	4人	12人
ワークショップ等の 体験事業実施数	48回	60回	140回
ワークショップ等の 体験事業参加者数	720人	900人	2,070人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

地域住民等で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」で設定した客観的な重要業績評価(KPI)をもとに経年的な効果検証を行い、適宜見直しを行う。

【外部組織の参画者】

下仁田町まち・ひと・しごと創生戦略会議(庁内管理職等で組織化)が、総合戦略記載事業の予算獲得状況、事業実施及び内容、執行状況、進捗状況等を各担当課から情報を集め整理し、その後、これら成果を産・官・学・金により構成された総合戦略推進協議会に諮り、検証及び軌道修正を行う。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 56,420千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 創業促進事業

事業概要:創業希望者に対し、創業支援講座の開催、事業所開設費補助金・事業所賃貸費補助金の交付等を実施し、創業・起業を促す。

実施主体:群馬県甘楽郡下仁田町

事業期間:平成 29 年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

地域住民等で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」で設定した客観的な重要業績評価(KPI)をもとに経年的な効果検証を行い、適宜見直しを行う。

【外部組織の参画者】

下仁田町まち・ひと・しごと創生戦略会議(庁内管理職等で組織化)が、総合戦略記載事業の予算獲得状況、事業実施及び内容、執行状況、進捗状況等を各担当課から情報を集め整理し、その後、これら成果を産・官・学・金により構成された総合戦略推進協議会に諮り、検証及び軌道修正を行う。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
チャレンジショップ 活用事業者数	0人	1人	1人	3人
ワークショップ等の 体験事業実施数	0回	0回	12回	20回
ワークショップ等の 体験事業参加者数	0人	0人	150人	300人

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累 計
チャレンジショップ 活用事業者数	3人	4人	12人
ワークショップ等の 体験事業実施数	48回	60回	140回
ワークショップ等の 体験事業参加者数	720人	900人	2,070人

7-3
目標の
達成状
況にか
かる評
価の公
表の手
法
毎

年度、地域創生担当課が3月時点でホームページにより公表を行う。